

令和2年度予算を可決しました!

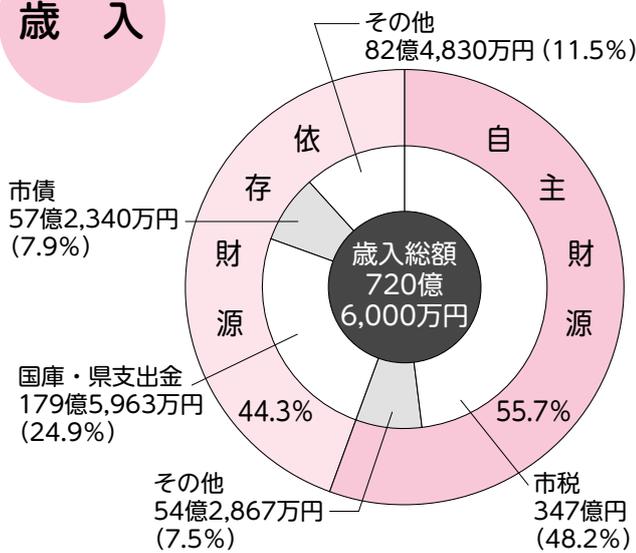
総額1,406億7,900万円

一般会計

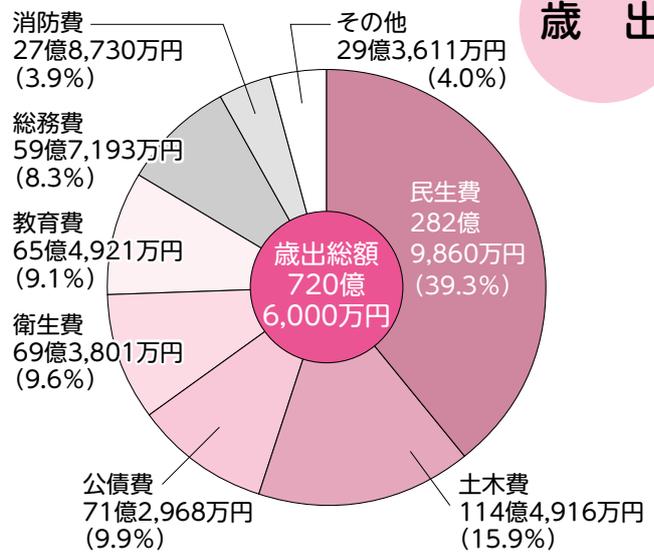
一般会計は、市民税などの市税を主な財源として、道路や学校の整備、福祉やごみの処理などの事業を行うための会計です。

令和2年度予算額	令和元年度予算額	比較増減	増減率
720億6,000万円	720億7,000万円	△1,000万円	△0.0%

歳入



歳出



一般会計予算決算委員会での主な質疑

問 職員研修における新たな取組は。

答 職員による不祥事の再発防止のため、令和元年度の幹部職員を対象としたコンプライアンスに関する知識や不祥事が及ぼす影響に対する理解を深めるための研修を、対象を拡大し全職員に実施するほか、女性職員の仕事と家庭の両立や、男性職員の育児休業取得向上等を目的とした子育て・育児ワークライフバランス研修を実施予定である。

問 企業立地促進事業の補助の内容は。

答 企業の進出や定着を図ることにより、経済の活性化及び雇用の創出を促進するもの

であり、令和2年度は企業立地促進事業費補助金8件と、中小企業設備投資促進事業費補助金8件のほか、ITオフィス等進出事業費補助金を既存の4社と新規の進出分に対して交付する予定である。

問 アスルクラロ沼津ホームタウン推進事業において、Jリーグライセンス基準適合調査業務委託を実施する目的は。

答 アスルクラロ沼津のJリーグライセンスを維持するためには、2023年シーズンの開幕前までに、ホームスタジアムである県営愛鷹広域公園多目的競技場の照明の照度を、現在の500ルクスから

1,500ルクスに引き上げる必要があることから、照明の改修に伴う技術的な課題の解消に向けて、調査を実施するものである。

問 教育総務費の情報機器整備事業の内容は。

答 ICT機器を活用した授業の充実を図るため、小学校6年生の全普通教室に大型ディスプレイと指導者用タブレットをそれぞれ1台整備するものである。国の示す教育のICT化に向けた環境整備5か年計画では、令和4年度までに小学校1年生から中学校3年生までの全普通教室への整備が求められているが、中学校においては既に整備が

完了しており、今後、小学校においても順次導入していきたいと考えている。令和2年度は、プログラミング教育など、活用機会が多い小学校6年生の普通教室を対象に整備する。

問 令和2年度の新たな取組である、ロタウイルスワクチンの定期接種の内容は。

答 予防接種法に基づき、急性胃腸炎の重症化を予防するロタウイルスワクチンの接種を、令和2年10月から、市が主体となって実施するもので、対象となるのは、令和2年8月以降に出生した乳児約550人、初回接種率は95%を見込んでいる。